

あなたのまなざしで 再出発を見守る社会へ



7月には「社会を明るくする運動」・「再犯防止」強調月間です。

▲ 海の日に海王丸パークで街宣活動

射水更生保護

いみずこうせいほく

発行編集 射水保護司会
会長 江尻 昭

TEL 0766-51-6625
〒939-0284
射水市新開発410番1
射水市福祉保健部
地域福祉課内



この大会は、毎年「社会を明るくする運動」射水市推進委員会と射水保護司会が主催し、会場・運営を市内各中学校持ち回りで御協力をいただいています。

北林さん県大会へ

第68回 「社会を明るくする運動」

平成30年5月17日「社会を明るくする運動」の一環として、第37回射水市中学生生活体験発表大会が射水市立大門中学校で開催されました。

江尻昭射水保護司会長のあいさつに続いて、成田廣昭射水市中学校会長の激励の言葉を受け、市内中学校6校の代表者が日常生活や学校生活で体験したことや考えたことを5分間の持ち時間で発表しました。

審査委員長の丹羽康雄射水市教育委員会事務局次長から、発表者ひとりひとりに温かい講評があり、審査結果が発表されました。

富山県大会の射水市代表には、「本当の豊かさとは」と題し発表した北林愛里咲さん（小杉南中2年）が選ばれました。北林さんは、12年間を過ごしたバングラディッシュの生活を通して感じた、日本の物質的豊かさとの心の豊かさについて発表しました。

当日、運営にご協力いただいた大門中学校教職員の皆様、司会進行役をしてくださった生徒会、発表に真剣に耳を傾けてくださった全校生徒の皆さん、ありがとうございました。

『更生保護サポートセンター射水』 月曜日から金曜日 / 午前9:30～午後3:30まで

射水市役所大門庁舎 車庫棟2階
〒939-0234 射水市二〇1081番地

電話：0766 (52) 7696
FAX：0766 (52) 7697

E-mail: imizuhogoshikai@gmail.com
ホームページ URL: hogosi.com

※保護司が交代で常駐しています。



▲発表者のみなさん

北林愛里咲さん

日本放送協会

富山放送局長賞受賞

第56回富山県中学生生活体験発表大会が7月7日午後1時から、ホテルグランテラス富山で行なわれました。

大会には県内各地区代表17人が参加し、射水市からは代表の北林愛里咲さん（小杉南中学校2年）が出場しました。北林さんは「本当の豊かさとは」と題し堂々と発表し、日本放送協会富山放送局長賞を受賞しました。

- 発表者及び演題（発表順）**
- 福田 薫（新湊南部中学校3年）
残すべき記憶
 - 薄尾 陸矢（大門中学校3年）
温かいつながりの中で
 - 松本彩野子（新湊中学校2年）
夢をもつということ
 - 石井 春名（小杉中学校3年）
大好きな母へ
 - 堀井夕月羽（射北中学校3年）
強い心と覚悟をもって
 - 北林愛里咲（小杉南中学校2年）
本当の豊かさとは



なぜ今『再犯防止』なのか？

平野 洋子

毎日のように悲惨な事件や事故の報道が新聞紙上等で報道されており、心が痛む日々です。

平成28年の犯罪白書によると、刑法犯認知件数は、約15年前（平成14年）の戦後最悪の285万件から各種再犯防止の取り組みの成果により、戦後最小の100万件台と減少しました。一方検挙者に占める再犯の割合（再犯者率）が上昇し、約50%を占めるに至っているとのこと。また、現在、刑務所出所者のうち、

出所後2年以内に約2割が、出所後5年以内に約4割が再犯により刑務所に再入所している状況にあります。安全・安心な社会を実現するためには、再犯防止対策が必要不可欠であるといわれています。

平成26年12月開催の犯罪対策閣僚会議が、「犯罪に戻らない・戻さない・立ち直りをみんなで支える明るい社会へ」と宣言しました。それは、犯罪や非行をした者を社会から排除・孤立させるのではなく、再び受け入れることが自然にできる社会にすることを目標としています。

たしかにこれまでの「再犯防止対策は国の仕事」としていたものは「出所者等が社会で居場所がなく孤立」↓「再犯・

刑務所へ」↓「社会からの排除・孤立化が進む」ことになり、「犯罪・非行の繰り返しを生む負の悪循環」となり出所者は社会で孤立する者が多くいました。

平成29年12月策定の「再犯防止対策を国民一体で確実的に取組む」ことにより「社会での居場所ができる」↓「更生・立ち直り」↓「国民の理解・協力が広がる」となり「犯罪・非行の繰り返しを防ぐ好循環」へと変化していくと思えます。

また、政府は平成33年までに、2年内再入率を16%以下にする等を確実に達成し、国民が安全で安心して暮らせる「世界一安全な日本」の実現を目標としています。

7月は「社会を明るくする運動」強調月間となっていますが、これに加え「再犯防止啓発月間」にもなっており、再犯防止推進計画等の取組みを社会の皆様方に広く知らしめることにより、関心と理解を深めていく月間となっています。

我々保護司も啓発・広報活動に積極的に取り組んでいこうではありませんか。



第68回「社会を明るくする運動」 射水市推進委員会開催



平成30年6月4日、第68回「社会を明るくする運動」射水市推進委員会（推進委員長夏野元志市長）が射水市役所3階会議室で開かれました。

開催にあたって射水市推進委員長夏野元志市長が、立ち直ろうとする人も含めて、誰ひとり取り残さない地域社会づくりをめざし、犯罪や非行のない安心・安全な社会の実現のために力を合わせましょうとあいさつしました。

主唱者代表として五十嵐則夫富山保護観察所企画調整課長は、平成29年12月15日に閣議決定された、刑務所出所

者らの再犯を防止するための「再犯防止計画」にふれてあいさつしました。
続いて、来賓の高橋久和射水市議会議長、山田純射水警察署生活安全課長のあいさつがありました。

夏野元志推進委員長を議長に選出し、審議が行われました。棚田射水保護司会事務局長より、第67回運動の実施結果報告が行われた後、第68回運動の活動指針となる実施要綱及び実施計画書が提案され、協議の結果承認されました。

市内小学校で、ライオンズクラブと共同で薬物乱用防止教室を実施、強調月間の7月には、例年通り海の日に海王丸パークで街頭広報活動を行います。



また、射水市作品コンテストを実施し、市内小

中学生より犯罪や非行に関する作文・ポスター・標語を募集、11月に優秀作品の表彰式を行います。

総理大臣・県知事 メッセージ伝達式

7月2日射水市役所で第68回「社会を明るくする運動」総理大臣・県知事メッセージ伝達式を行いました。



▲(左) 夏野元志市長 (右) 江尻昭保護司会長



▲(左) 高橋久和市長

サポート射水に 砺波保護司会来訪

7月25日午後、上保賢了砺波保護司会長・事務担当者をはじめ8名の皆様を、「更生保護サポートセンター射水」にお迎えしました。事務所の見学の後、豊田副会長・棚田事務局長・森田サポートセンター長・平野事務局次長が参加して、サポートセンター運営についての懇談会を行いました。

砺波保護司会は、サポートセンター開設を検討中とのことで、事前に提示していただいた質問をはじめとして、駐在保護司の選定方法と人数、当番制について、開所日と駐在時間、夜間や休日の使用について、経費と備品についてなど、話題は多岐にわたりました。砺波保護司会の活動をうかがうこともでき、心身ともに「あつい」交流会となりました。





射水市更生保護女性会だより

会長就任のごあいさつ

射水市更正保護女性会
会長 小井 孝子



平成30年度の総会にて、会長に選任されました。重責と思いますが、保護観察所、保護司会と連携し、会員の皆様と一緒に活動できる事に感謝し、微力を尽くすつもりでございます。

さて、更生保護女性会の活動って？と良く聞かれることがあります。ここに、新たな思いで書いてみました。◇女性ならではの立場から、犯罪や非行



▲ 江尻保護司会長より薬物乱用防止についての講演

平成30年度総会

4月28日(土) 午後1時30分より射水市役所にて、江尻保護司会長・棚田更生保護協力会事務局長をお迎えして総会を開催しました。会員63名出席のもと式次第に沿って議事も滞りなく進行し、小井会長のもと新役員も承認されました。その後、江尻会長より市各小学校において毎年行われている「薬物乱用防止」についての講演をしていただきま

わない安心安全な地域づくり、「社会を明るくする運動」に参加・協力する。◇犯罪予防と犯罪や非行のある人が、地域社会の中で立ち直れるように支援活動を行う。

◇子育て中の親を支え、地域ぐるみで子どもを見守り育てる、子育て支援・家庭や非行を考えるミニ集会・更生保護施設での給食活動・それぞれの地域で、自分たちに行えることを行う。

◇会員のより良い活動のための研修、会員同士の親睦をはかるための活動を行う。豊かで便利な世の中だけど、何かさびしい、ショッキングな事件も多い。こんな時こそ私たち更女のモットー、「ほっとけな

い」精神で頑張らなければと思います。会員の高齢化に伴う退会、新会員募集の難しさなど、様々な問題もあります。しかし、歴史あるこの活動は何としても続けていかねばなりません。

今後も会員同士の交流(連携)を密にして、共に学び、考え、理解し、温かな思いやりのある行動ができる、そんな更女の心の輪を広げ、地域で「なくてはならない更女会」を目指しましょう。

そのためには、私たち自身がイキイキと元気で笑顔の更女であることが大切です。どうぞ皆様のご支援ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

した。自分には関係のない問題と思わず、危険性は身近にあることを地域の皆さんに強く伝えたいと思いました。「ゼツタイ。ダメ。」を皆で言い合い、広め、私たち更女会員は、あたたかな人間愛をもって、明るい社会づくりのために行動することを決意しました。この講演は、児童父兄には是非聞いてもらいたく思いました。(N・K)



受賞おめでとうございます

日本更生保護女性連盟
会長表彰 道古 正子

30年度事業の概要 (平成30年4月～31年2月)

- 4月28日 市更生保護女性会総会
- 5月7日 県更生保護女性連盟総会
- 6月21日～22日 中部地方更生保護女性代表者研究協議会
- 6月28日～29日 市更生保護女性会県外研修
- 7月15日 女子更生保護施設(白光荘)
- 7月16日 更生保護フェアin滑川
- 7月16日 子育てフェスティバルinいみず
- 7月16日 社会を明るくする運動街頭宣伝活動(海王丸パーク)
- 8月未定 県更生保護女性連盟会員研修(ホゴちゃんマスケット製作)
- 10月1日 共同募金協力活動
- 11月9日 市更正保護女性会理事研修
- 11月下旬 県更生保護女性連盟会員研修
- 平成31年2月中旬 市更生保護女性会全体研修

射水市更正保護女性会 視察研修に参加して

あじさいの色鮮やかな梅雨空のもと、私達は一路びわ湖大津へと向かい、美しいびわ湖のそばにあるレストランで美味しいフレンチランチをいただきました。

今回の研修会場は、京都にある更生保護施設西本願寺「白光荘」です。このような女性だけの施設は、全国で7カ所あり、近畿地区では唯一です。更生を目指し、再出発に向けて人を支える場として、仮出所する人の5人に1人が利用されているとのことでした。

罪や非行を犯した人の中には、頼れる人がいなかったり、生活環境に恵まれていなかったり、また、本人に社会生活上の問題があるなどの理由で、自立できない人がいます。そのような人の再出発を支え、再犯を防止する重要な役割を担っています。

施設長さんからお聞きしたある女性のお話ですが、「1年間過ごした少年院を出る時、「こんなに変わった私を見て！」
大好きなお母さんにだけは「お帰

り」の一言だけ言って欲しかった。でも、返ってきた言葉は違っていた。まるで厄介者扱い。「あんたなんか帰ってこん方がエエのに。」突き放されたその言葉で、再び暗闇の中へと走っていく。

何とも言いようのない虚しさで目頭が熱くなりました。

施設では、どんな小さなことでも誉めてあげることが大切に行っていると言われました。施設長さんのお話では、女性ならではの思いやりが込められた日々の生活教育であると感じました。

館内を案内していただきましたが、掃除もきちんとなされ清潔な感じでした。自分自身も反省させられ、とても有意義な研修であったと感謝しています。

夜の懇親会では楽しく盛り上がり、終わりに参加者全員が「越中おわら節」を大きな輪で踊り、心の結びつきも一層深まりました。2日間、同じ目標を持つ皆さんと楽しい視察研



修ができ、全員無事帰路に就くことができました。(Y・F)



30年度役員名簿

会長	副会長	書記	会計	監事
小井 孝子	草野 憲恵	竹内美津子	夏野 里奈	川口 泰子
久々江ます美	眞岸 潤子	高野まさ子	東保 恵子	尾山 範子

退任のごあいさつ

道古 正子

ひまわりの花が風にやさしく揺れています。

それを眺めながら会長としての6年間、未知の経験や挑戦の中で、やさしい気遣いや、さりげない配慮をいただきながら活動させていただきましたことに思いを巡らせていました。

未熟な点や至らなかつた点など多々あったであろうと思いますが皆様方にお導きいただき無事に任務を終えることができました。

お世話になりました皆様お一人お一人に心より感謝申し上げます。

これからは、一会員としてもう一度初心に立ち返り「更生保護女性会綱領」の心を大切に、私の大好きな「ひまわりの譜」を口ずさみながら、皆様とのつながりを大切にしながら日々を過ごして参りたいと思っております。

これからの皆様方のますますのご多幸とご活躍をご祈念申し上げます。退任のあいさつとさせていただきます。



射水市更生保護女性会だより

平成30年度定期総会 江尻会長を再任

平成30年度射水保護司会定期総会を、4月24日射水市役所3階会議室において開催しました。

前川洋富山保護観察所長、夏野元志射水市長、不後昇射水市議会副議長、金澤英敏射水警察署長、長井忍射水市教育長、成田廣昭射水市中学校長、山本幸弘射水市小学校長、門田晋射水市社会福祉協議会長、射水地区協力雇用主会長、射水市更生保護女性会長、市関係部課長、名誉保護司等多数のご臨席を賜りました。

総会に先立ち、射水市更生保護協会の一般社団法人化に伴う臨時総会が開催されました。

棚田孝事務局長の開会宣言のあと、物故者への黙祷、保護司信条の朗唱をしました。

江尻会長が犯罪や非行を防ぎ、立ち直りを支援するために会員の一層の結束と、様々な活動の中で地域との連携を深めていこうとあいさつしました。

続いて、前川洋富山保護観察所長があいさつの中で次のお話されました。「世界一安心で安全な日本を目指し、再犯防止推進計画が昨年末閣議決定されました。刑務所出所者を含め

て再犯を防ぐためには、排除や孤立ではなく、責任ある社会人として迎えることが重要です。非行や犯罪から立ち直ろうとする人への「理解・協力」に、地域社会の関わり方も変化していく必要があります。皆様のご協力をお願いします。」

次に、夏野市長が、立ち直ろうとする人を、地域のいろいろな立場の人が手を携えて支えていく、地域の命の中の一人という環境づくりをしていく、それが安心安全な射水市づくりにもつながってゆくとおっしゃるとあいさつされました。

続いて射水市議会より、不後昇副議長から御祝辞をいただき、最後に、射水警察署金澤英敏署長が市内の犯罪現況にふれ、射水保護司会・関連団体と協力し合って、犯罪や非行を防ぎ犯罪が起きにくい社会の構築をめざしましょうとお話されました。

議長に志村慧雲保護司を選出し、平成29年度事業報告、決算報告、監査報告、役員改選(案)、平成30年度事業計画(案)、平成30年度収支予算(案)を審議し、全ての議案を承認し、総会は滞りなく終了しました。

◆会員紹介(地区別・順不同)

●放生津

江尻昭(会長)

真岸勝彦 大濱晴彦 旭邦彦

●新湊

谷口繁 新中孝子 佐賀あさ子

瀧内一雄 棚田孝

小杉一彦 中田政一 矢野善治

●作道

本江重吉 坂井敏政

●塚原

青木哲静 高木秋生 中島正治

●片口

栗原彰 片林政敏

●堀岡

谷川義昭(副会長) 富岡民生

●本江

多賀正夫 石村むつみ

●七美

山本 雅幸

●海老江

五十嵐繁久 龍本茂樹

●小杉

堀浩昭 河畑富美子 池松光春

永森直人 安田久美代 志村慧雲

辰口秀幸

●太閤山

五十嵐枝折 熊谷正克 澤英明

澤田優子 林美貴子 池内興舟

●歌の森

寺腰健一 藤岡由美

境文夫 山崎次平 平野洋子

●大門

塚本秀樹 廣瀬秀昭 森田ひとみ

佐伯日登美 豊田博保(副会長)

表隆夫 高橋久和

●大島

松長ますみ 林弥生 室田清一

島田公志 高田大介 瀧田孝吉

●下

藍口信子

射水地区協力雇用主会 定期総会開催

6月1日サポートセンター射水で、射水地区協力雇用主会の定期総会が開かれ、山本修氏が会長に再任されました。

安全で安心して暮らせる社会をつくる上で、「再犯防止」が大きな課題となっています。犯罪や非行から立ち直ろうとする人には、居場所(住居)と出番(仕事)が必要です。再犯の防止等の推進に関する法律には、初めて「協力雇用主」という言葉が入り、その役割がますます期待されています。



各部会活動報告

◆ 総務部会

総務部会は理事会を兼ね、研修・保護観察、地域活動、協力組織、学校、広報の部会が掌握しない行事や事務について、連絡調整を行っています。今後の主な行事を紹介しますので、ご参加・ご協力をお願い致します。

- 8月21日 定例研修会
 - 11月24日 市作品コンテスト表彰式
 - 11月22日 薬物乱用防止教室（作道小）
 - 12月4日 第3期定例研修・自主研修
 - 平成31年
 - 1月11日 薬物乱用防止教室（片口小）
 - 1月16日 薬物乱用防止教室（太閤山小）
 - 1月22日 薬物乱用防止教室（東明小）
 - 1月24日 薬物乱用防止教室（大門小）
 - 1月25日 薬物乱用防止教室（堀岡小）
 - 2月5日 第4期定例研修・自主研修
 - 新任・退任保護司歓送迎会
 - 2月6日 薬物乱用防止教室（金山小）
 - 2月13日 薬物乱用防止教室（歌の森小）
 - 薬物乱用防止教室（小杉小）
 - 薬物乱用防止教室（大島小）
 - 3月16日 新任保護司研修懇談会
 - 3月26日 企画調整保護司懇談会
- ※この他年4回の理事会と年12回の三役会を開催しています。

◆ 研修・保護観察部会

昨年は日本更生保護協会と全国保護司連盟の助成により、SST研修の実施や、富山ダルクから来ていただき勉強会の実施、びわこダルクへの県外研修など、とても多忙な研修部会活動でしたが、今年の研修会では射水保護司会の皆さんに講師になっていただき自主研修会を行います。

普段会話することの少ない保護司同士の交流を深めるとともに、私たちの知らない一面を知ることによって、これからの活動に役立てたいと思っています。

なお、2期自主研修では富山養得園の孫田文夫氏を講師に迎え、「保護司が知っていて活用できる正しい知識について」をテーマに講演していただく予定です。

◆ 地域活動部会

今年も海の日の7月16日、海王丸パークで「社会を明るくする運動」強調月間・再犯防止啓発月間の宣伝活動を展開し、たくさんの方々に参加いただきありがとうございました。

富山県保護司会連合会「地域活動部会」協議会が6月13日に開催されました。学校と保護司との連携について協議され、各地区の活動状況および効果と課題について報告がありました。

◆ 協力組織部会

一番多かったのは薬物乱用防止教室でしたが、氷見地区では、地方検察庁と連携し、毎年持ち回りで中学2年生を対象に「公開ケース研究会」を実施されています。少年による具体的な刑事事件を提供し、班別に分かれ、どのような処分が適当か話し合い、様々な立場や意見を通して、法の理念、少年保護、更生保護の重要性について理解を深めておられ、保護者、民生委員も参加されているそうです。

◆ 学校部会

学校部会では、市内小・中学校のご協力のもと、犯罪予防活動の推進に努めています。

- (1)「社会を明るくする運動」の推進
- 5月に第37回「射水市中学生生活体験発表大会」を大門中学校で実施。
- 6月に作品コンテストのポスター・作文・標語の募集について学校に依頼。
- 9月に作品を提出いただき、審査を経て、11月に優秀作品の表彰式を実施する予定。
- (2)薬物乱用防止啓発活動の推進

ライオンズクラブと連携し、市内小学校を対象に学校が希望する日時に「薬物乱用防止教室」を実施。

今後とも、犯罪予防活動の推進にご支援ご協力をいただきますよう、よろしくお願いたします。

◆ 広報部会

- 6月1日 射水地区更生保護協力雇用主会定期総会
- 6月4日 社会を明るくする運動 射水市推進委員会
- 7月13日 射水市更生保護協力会 定期総会
- 8月3日 富山県就労支援協議会 県保連
- 9月12日 「協力組織部会」協議会
- 9月27日 企業訪問
- 12月11日 保護司会・更生保護女性会・BBS会三者連携強化研修
- 4月20日 県広報編集委員会
- 6月6日 県広報編集委員会
- 7月11日 県広報編集委員会
- 8月 70周年記念誌について 「射水更生保護」25号発行
- 10月10日 県広報編集委員会
- 12月14日 県広報編集委員会
- 平成31年
- 1月15日 県広報編集委員会
- 1月 県「広報部会」協議会
- 2月 作品集発刊
- 3月15日 県広報編集委員会 「射水更生保護」26号発行

射水保護司会事務局日誌

- 4月10日 第1回三役会
- 4月16日 第1回理事会 (総務部会)
- 4月24日 保護司選考会
- 4月26日 射水保護司会定期総会
- 4月28日 薬物乱用防止教室ライオンズクラブと打合せ
- 5月8日 射水市更生保護女性会定期総会
- 5月17日 第2回三役会
- 5月29日 中学生生活体験発表大会
- 6月1日 第1期定期研修会
- 6月4日 射水地区更生保護協力雇用主会定期総会
- 6月5日 第68回「社会を明るくする運動」射水市推進委員会
- 6月12日 市作品コンテスト応募依頼学校訪問
- 6月13日 第3回三役会
- 6月20日 第2回理事会 (総務部会)
- 6月21日 「地域活動部会」協議会
- 7月2日 薬物乱用防止教室(新湊小) 第68回「社会を明るくする運動」内閣総理大臣・県知事メッセージ(伝達)
- 7月7日 第56回富山県中学生生活体験発表大会

- 7月8日 6・26(薬物乱用防止) ヤング街頭キャンペーン
- 7月10日 薬物乱用防止教室(塚原小) 第4回三役会
- 7月13日 射水市更生保護協力会定期総会
- 7月15日 更生保護フェアin滑川
- 7月16日 第68回「社会を明るくする運動」街頭広報活動
- 8月14日 第5回三役会
- 8月17日 県保連「研修部会」協議会
- 8月21日 第2期定期研修会
- 9月7日 自主研修会
- 9月10・11日 作品コンテスト応募作品
- 9月11日 作品コンテスト審査会
- 9月12日 第6回三役会
- 9月12日 第3回理事会 (総務部会)
- 9月12日 県保連
- 9月12日 「協力組織部会」協議会
- 9月12日 県保連
- 9月18日 「協力組織部会」協議会
- 9月18日 「事務担当者等」協議会

保護司の異動 (敬称略)

○新任保護司 (平成30年5月25日付)

- 澤田 優子 (太閤山)
- 辰口 秀幸 (小杉)

サポートセンターだより

高木 秋生

近年、少子高齢化や核家族化が著しく進んでいます。現代の若者は、パソコンやスマートフォンで情報を容易に得ることが出来る時代にあつて、先輩や老人と直接話をする機会から遊離しています。このために、代々受け継がれてきた家風や地域力が脆弱となり、人との関わりや思いやりの心等、生きる力が衰退しているように思われます。そのことが、近頃痛ましい事件や事故が起きている背景にあるように思われるのです。

さて、サポートセンター射水の役割は、単なる受付・事務的業務のみではなく保護司会の文化的交流の場としての拠点と捉えています。来訪される保護司をはじめ、OBの方々や関係機関団体等の人々との情報交換の場でもあります。人にはそれぞれ、サポートセンター射水の役割は、保護司が経験したことのない難解な問題ケースを解決する糸口は、日頃何気ない話題の中にあり、その蓄積がサポートセンター射水に埋蔵文化として、徐々にではありますが育まれているように思います。

また、保護司の任務は、保護司会の組織や各部会の企画運営を推進する一因ではありますが、基本的には保護観察指導が本務なのです。保護観察の対象者には、同じケースはほとんどありません。保護司が経験したことのない難解な問題ケースを解決する糸口は、日頃何気ない話題の中にあり、その蓄積がサポートセンター射水に埋蔵文化として、徐々にではありますが育まれているように思います。

編集後記

「社会を明るくする運動」強調月間も無事終わり、少しは地域の皆様にPRできたかな…。私の街に子供神輿が新調されたのは40年前でした。たまたま3年前に富山刑務所の作業現場を見学する機会があり、神輿製作工程を見ました。井波彫刻の先生の指導の下、受刑者たちは真剣に道具を磨き、木作業に取り組んでいました。

自治会役員と共に、富山刑務所へ神輿を受け取りに行きました。出来上がりは頑丈で、40年間使用しても破損しません。子供神輿がどこで出来たのか、子供はもちろん親たちさえ知らないと思います。地域住民の祭りを盛り上げているこの子供神輿は、受刑者たちの努力の結晶です。出所者には地域住民と共に再出発に向け温かく見守っていききたいものです。

五十嵐記

